

ふじみ市民学コース 行政と市民生活

富士見市のまちづくり現状と課題

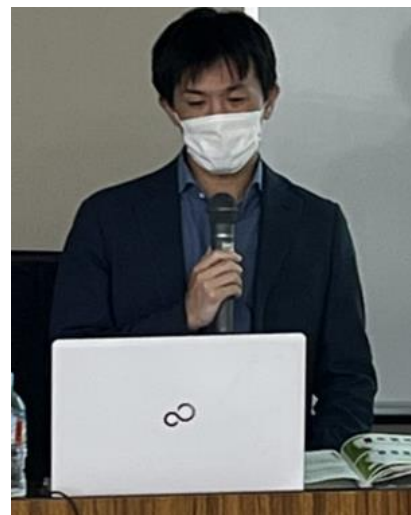
第3回

富士見市の財政はとうなる 富士見市の 財政事情について

講師 財政課 若松克治 氏

日 時 2022 年 10 月 8 日（土）10:00～12:00
場 所 鶴瀬公民館 第三集会室
講 師 若松 克治氏（財政課）
久保田 智子氏（財政課長）
受講者数 15 人

第3回講座は、第1～2回の講座に引き続き「富士見市の街づくり」の第3弾として、「富士見市の財政はとうなる、富士見市の財政事情について」をテーマに 財政課 若松 克治氏 および久保田智子課長をお迎えして行なわれた。



講師 若松 克治氏

今回の講座の目的を「富士見市の財政事情を知るにあたって、「財政とは」「予算とは」など基本的な内容などから学ぶ事」とされました。

I. 講座の概要

1. 財政とは何か

- ・市が公共施設を維持したり、公共サービスを提供するために、税金などを集め、必

要なお金を支払っていく活動。簡単に言うと、「お金のやりくり」。

- ・その運用は、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。

2. 予算とは何か

・予算

一年間で、必要な事業にお金をどのように割り振るかを決めた見積もりのこと。
簡単に言うと、「お金の使いみち」

・予算が決まるまでの流れ

予算編成方針に基づき各部署の予算要求がなされ市長が調製・予算案を決定、市議会で審議、議決をもって予算が成立する。

・予算の変更

当初予算；最初の決めた予算

補正予算；期中に変更した予算

・会計の種類

一般会計；市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計；特定の目的のための会計

公営企業会計；市が企業性格を持った事業を経理する会計

3. 予算の基本事項

1. 歳入（収入）と歳出（支出）

- ・歳入（収入）；税金、公共施設などの使用料、国や県からの補助金など
- ・歳出（支出）；年度に実施する事業に要する金額、を見積もる。緊急性、必要性が高いかどうかを慎重に検討して予算を作成。

2. 令和4年度一般会計予算総額

- ・当初予算額 378 億円→過去最大の予算規模

4. 歳入予算の概要

1. 歳入の種類

- ・自主財源と依存財源

自主財源・・・地方公共団体が自主的に収入できるお金

依存財源・・・国や県の決定により交付される収入

2. 自主財源と依存財源の構成割合

3. 収入（歳入）予算の内訳

- ・市税予算額 155.5 億円（前年度比＋13.6 億円）
→歳入全体の 41%を占める貴重な財源

4. 他市町村との比較～歳入編～

- ・市税の割合：県内平均より 1.6 ポイント低い
- ・地方交付税の割合：県内平均より 3.3 ポイント高い
→自主財源の確保が課題

5. 歳出予算の概要

1. 支出（歳出）目的別予算の内訳

- ・市税予算額 1 5 5. 5 億円（前年度比 + 1 3. 6 億円）
→歳出全体の約半分が民生費

2. 歳出（目的別分類）

3. 歳出（性質別分類）

4. 他市町村との比較～歳出編～

- ・民生費の割合：県内平均より 4. 9 ポイント高い
→予算の硬直化が課題

6. 予算を考えてみましょう

家計に例えると、、、

7. 決算とは何か

1. 決算

- ・一年間でどれだけの歳入と歳出があったかを内訳とともに明らかにする事（予算を使ったあとの結果）。
- ・一年間の収入及び支出の見積もり（予算）に対して、実際の収入額、支出額を精査して「決算書」を作成。

2. 予算が決まるまでの流れ

- ・予算執行終了→収支額を精査→決算書作成→決算審査→決算認定

3. 令和 3 年度決算について

- ・実質収支がプラスのため黒字決算。
- ・実質収支のうち半分は翌年度の歳入に編入し、残り半分は財政調整基金に積み立てる（いわゆる貯金）。

8. 財政調整基金残高の推移

・ 1. 財政調整基金とは

- ・自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金
- ・市の預金である財政調整基金は、決算上の剰余金の 1/2 を積立て、取り崩しを抑えながら必要額の確保に努めています。

9. 債務残高の推移

- ・交付税措置のない借入を抑制するなど債務残高の抑制に努めるものの、施設の修繕等により増加傾向。



10. 財政分析のための主な財政指標

1. 財政力指数

市の標準的な行政活動を行うのに必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを表す「財政力」の強弱を示す指数です。

2. 経常収支比率

人件費、扶助費や公債費等の経常的な支出が、市税や地方交付税等の経常的収入に占める割合のことで「財政における弾力性」を示す指標です。

11. 今後の富士見市の財政について

1. 20年後の理想の“未来”『充実した日々』を目指して

2. 今後の富士見市の財政

- ・歳入…市税収入の大幅な増加が見込めない
- ・歳出…老朽化の進む公共施設の長寿命化対策や庁舎建替えに向けた基金の積立てが必要となるほか、社会保障関係経費が引き続き増加傾向
- ・今後も厳しい財政状況が続くものと見込まれる。市民ニーズや時代の潮流を捉えながら、魅力あるまちづくりに向け、安定的な税収基盤の強化のほか、国・県支出金や地方債の活用などにより、持続可能な財政構造の確立を目指す

Ⅱ アンケート集計結果

集計データ

講演会受講者数	15 人(参加者 16 人)
アンケート回収	6 人
回収率	40.0%

1. 講演会について

項 目	満足	普通	不満足	合計	満足度
内容について	0	6		6	0%
講師について	0	6	0	6	0%
スタッフの対応について	2	4	0	6	33.3%
合 計	2	1 6	0	18	11.1%
満足度	11.1%	88.9%			

→不満について 記載なし

来期以降の講座、講演会について、取り上げて欲しいテーマテーマや講師名などをご記入下さい

→記載なし

2. 本講演をどこでお知りになりましたか

① 市民大学からのお知らせ	3
② 市民大学 HP	1
③ 掲示板ポスター	0
④ お知り合いからのお誘い	0
⑤ 市広報	0
⑥ 公民館便り	0
⑦ その他	0
合計	4

3. 回答者の属性について

性 別

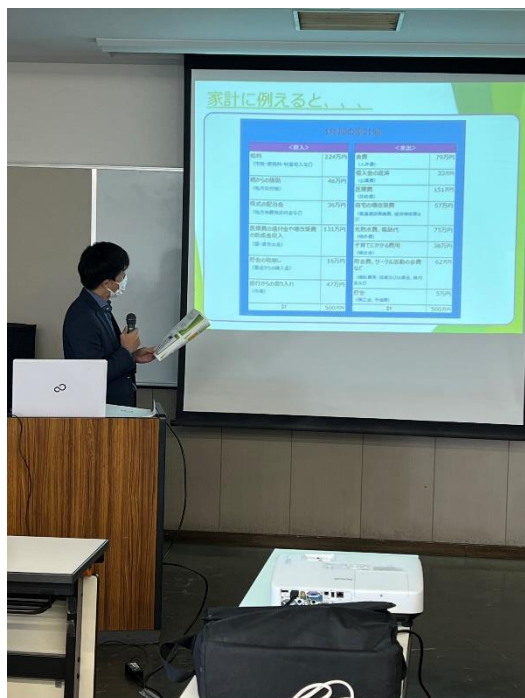
項 目	男性	女性	合計
性 別	4	2	6
割合 (%)	66.6%	33.3%	100%

年 齢

	5 0 歳以下	5 1 ～ 6 0 歳	6 1 ～ 7 0 歳	7 1 歳異常	合計
年 齢 (人)	0	0	2	4	6
割合 (%)	0%	0%	33.3 %	66.7 %	100%

お住まいの地域

鶴瀬地区 2 関沢 1 上沢 1 渡戸 1



Ⅲ 講座サマリー（パワーポイント）

令和4年度

**富士見市の財政はどうか
富士見市の財政事情について**

日時：令和4年10月8日（土）
富士見市役所 政策財務部財政課 若松

財政の基礎知識

本市の財政事情を知るにあたって、「財政とは」「予算とは」など基本的な内容などから学んでいきましょう！

1. 財政とは何か

財政とは何か

市が公共施設を維持したり、公共サービスを提供するために、税金などのお金を集めて管理し、必要なお金を支払っていく活動。簡単に言うと、「お金のやりくり」。

地方公共団体は、その事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない（地方自治法第2条第14項）。

効率的に自治体の財政を運営していく必要がある。

2. 予算とは何か

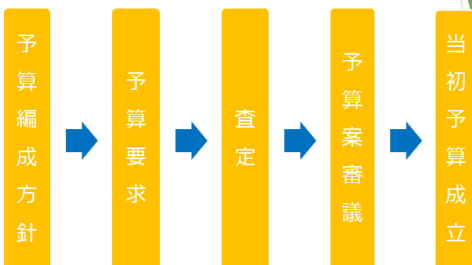
予算とは何か

一年間（4月から翌年の3月まで）で、必要な事業に必要なお金をどのように割り振るかを決めた見積りのこと。簡単に言うと、「お金の使いみち」。

具体的には、各部署において一年間のこういった仕事をするか予定を立て、それにどのくらいお金が必要になるか見積もりをする（予算要求）。

市長がその見積もりをもとに調製・決定した予算案を市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が成立する。

予算が決まるまでの流れ



予算は途中で変更できるのか

当初予算

市議会から議決を受けた4月から翌年3月までの一年間の予算のこと。

補正予算

最初に決めたお金（予算）より多く出費することになったり、また緊急にお金が必要になったり、逆にお金が入ってくるようになったときに、予算を変更すること。

（ex）台風による浸水被害で年度当初想定していたよりも復旧事業費が必要になった場合

一般会計

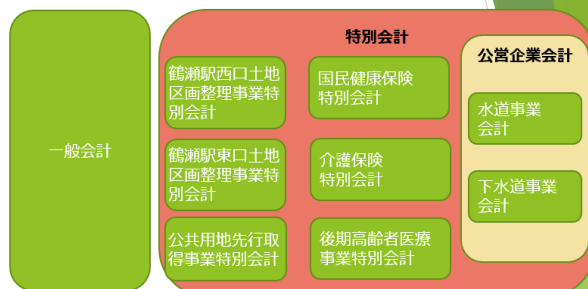
教育、福祉、道路や公園の整備など、主に市の基本的な行政サービスを行う会計。生活に置き換えると、生活費の出入金で日常的に利用している口座。

特別会計

特定の目的のための会計で国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のこと。生活に置き換えると、学費やレジャーなどの特定の目的のために利用している口座。

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（上水道、下水道）を営むための予算を経理する会計。



3. 予算の基本事項

令和4年度一般会計予算総額
当初予算額 378億円
過去最大の予算規模

この画像は表示できません。

主な要因
 鶴瀬駅東口駅前広場整備や幹線道路整備などの工事費の増など

予算の基本事項

歳入（収入）
 市民のみなさんに納めていただく税金、公共施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるか見積もりをする。

歳出（支出）
 市民のみなさんからの意見や要望を取り入れながら、次年度に実施する事業に要する金額を見積もる。しかし、財源には限りがあることから、実施したいことがすべてできるとは限らない。緊急性、必要性が高いかどうかを慎重に検討して予算を作成。

4. 歳入予算の概要

歳入予算の概要

市の収入のことを「歳入」といい、市が行う行政活動の財源となるもの。歳入には、「自主財源」と「依存財源」に分けられる。

- 自主財源・・・地方公共団体が自主的に収入できるお金
- 依存財源・・・国や県の決定により交付される収入

依存財源が多くなるということは、外部からのお金に頼るということなので、結果として市の自由度が減る。自主財源を確保すれば、財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことが可能。

歳入予算の概要
 （令和4年度一般会計当初予算）

科 目		金額（億円）	割合（％）
自主財源	市税	155	41.0
	その他 ※1	26	6.9
依存財源	地方譲与税等	27	7.1
	地方交付税	35	9.3
	国・県支出金	99	26.2
	市債	36	9.5
合 計		378	100.0

※1 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入の合計です。

令和4年度一般会計予算総額
当初予算額 378億円
過去最大の予算規模

この画像は表示できません。

主な要因
 鶴瀬駅東口駅前広場整備や幹線道路整備などの工事費の増など

他市町村との比較～歳入編～
令和4年度一般会計当初予算の状況

科目	富士見市	県内平均
市税	41.0%	42.7%
うち個人市民税	18.8%	18.1%
うち法人市民税	1.3%	2.2%
うち固定資産税	15.8%	17.2%
地方交付税	9.3%	6.0%

・市税の割合：県内平均より1.6ポイント低い
 ・地方交付税の割合：県内平均より3.3ポイント高い
→自主財源の確保が課題

歳出予算の概要

市税予算額 155.5億円 (前年度比+13.6億円)

→歳出全体の約半分が民生費



歳出・目的別

科 目	説 明
議会費	議会の運営などに必要なお金
総務費	全般的な管理経費、自治振興、税の課税・徴収、選挙などに必要なお金
民生費	高齢者や障害者への生活支援、保育所の運営など福祉のために必要なお金
衛生費	健康づくり、環境対策、ごみ処理などに必要なお金
労働費	勤労者の支援などに必要なお金
農林水産業費	農林水産業の振興などに必要なお金
商工費	商工業や観光の振興などに必要なお金
土木費	道路、河川、公園の整備や維持管理などまちづくりのために必要なお金
消防費	消防や救急活動に必要なお金
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興などに必要なお金
災害復旧費	災害によって被害を受けた施設等を復旧するために必要なお金
公債費	地方債の元金及び利子の返済に必要なお金
予備費	不測の事態に対応するためのお金

歳出（性質別分類）

科 目	説 明
人件費	職員などの労働の対価として支払うお金
物件費	他の性質に該当せず、消費的な性質のお金（消耗品や備品購入費など）
維持補修費	市が管理する道路や公共施設などに維持するお金
扶助費	生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、被扶助者の生活を維持するためのお金
補助費等	各種団体への補助金、負担金や報償費などのお金
普通建設事業費	公共用又は公用施設の新増設等の建設事業にかかるお金
災害復旧事業費	災害によって被害を受けた施設等を復旧するお金
公債費	地方債の元金及び利子の返済に必要なお金
積立金	基金への積み立てにかかるお金
貸付及び出資金	公益上必要な会社や土地開発公団などに出資するお金
投資金	直接的又は間接的に市民の福祉増進を図るために現金の貸付を行うお金
繰出金	一般会計と特別会計又は特別会計間において支出する経費

他市町村との比較～歳出編～

令和4年度一般会計当初予算の状況



科目	富士見市	県内平均
総務費	12.5%	10.8%
民生費	48.2%	43.0%
土木費	12.7%	9.6%
教育費	8.7%	11.3%

・民生費の割合：県内平均より4.9ポイント高い
→予算の硬直化が課題

6. 予算を考えてみましょう

7. 決算とは何か

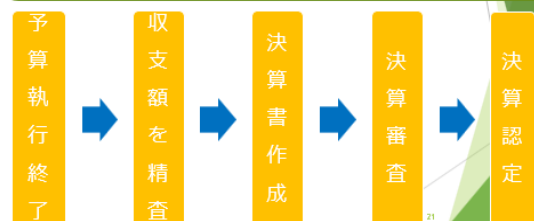
家計に例えると、、、

1年間の家計簿

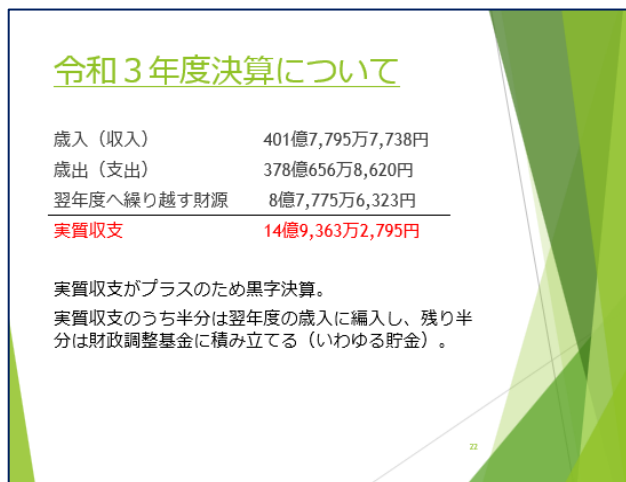
＜収入＞	＜支出＞
給料 (市税・使州税・副業収入など)	食費 (人食費)
親からの援助 (地方交付税)	借入金の返済 (公債費)
株式の配当金 (地方消費税交付金など)	医療費 (扶助費)
医療費の還付金や増減費 の勘定金収入 (国庫支出金)	自費の増減費 (普通選挙費等費、維持補正費など)
貯金の取崩し (橋本会へ返済金)	光熱水費、電話代 (物件費)
銀行からの借り入れ (市債)	子育てにかかると費用 (成立金)
	同会費、サークル活動の会費 など (補助費等、修費及び支出金、貸付金など)
計	計

決算とは何か

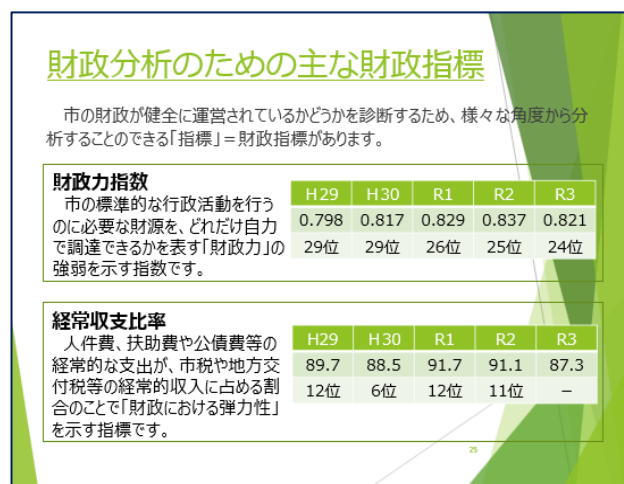
4月から翌年3月までの一年間でどれだけの歳入と歳出があったかを内訳とともに明らかにすること（予算を使ったあの結果）。
一年間の収入及び支出の見積もり（予算）に対して、実際の収入額、支出額を精査して「決算書」を作成。



8. 財政調整基金残高の推移

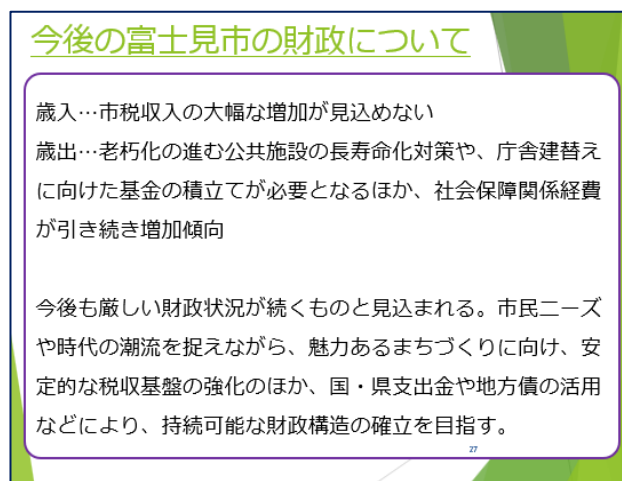
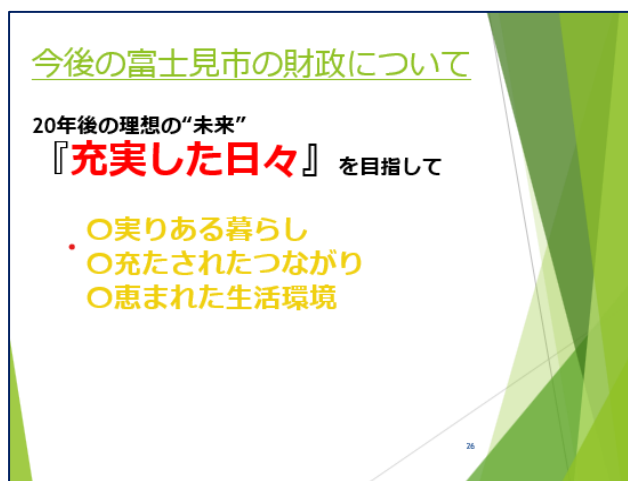


9. 債務残高の推移



10. 財政分析のための主な財政指標

11. 今後の富士見市の財政について





富士見市の財政 効果測定

問題

次の問1～問4の文章について、正しければ「○」を、誤りであれば「×」を解答欄に記入してください。問5については、記述してください。

【問1】当初予算は、市民の代表で構成される市議会で十分に審議した上で成立したものであるから、年度途中で変更することは民主的統制が図られず許されない。

解答欄	
-----	--

【問２】自主財源とは、国や県の決定により交付される収入であり、依存財源とは、地方公共団体が自主的に収入できるお金のことである。

解答欄	
-----	--

【問３】富士見市の令和４年度当初予算総額は過去最大である。

解答欄	
-----	--

【問４】次年度の予算は、市議会が予算案を市長に提出して市長が承認をすることで成立する。

解答欄	
-----	--

【問５】地方公共団体は、その事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。

解答欄	
-----	--

報告 安藤隆一